戸車の施工に関する注意事項

- 戸車をレールに対して、建具・門扉に真っすぐに取り付けてください。
- 1枚の建具・門扉には、戸車を両端に1個ずつ計2個で取り付けてください。
- 2本引きレールの門扉の場合、外側面と内側面で門扉の荷重が大きく差が出る場合がございます。

  戸車の耐久性に影響が出ますので、外側面と内側面の荷重が均等になるようご注意いただきたいと思います。
- マンション等の大きい門扉には、自動開閉仕様をご利用いただいている場合がございます。

  自動開閉仕様では、門扉がレールに対して真っすぐ進まず、車輪がレールと常に接触しながら稼動している場合がございます。そのため車輪が激しく摩耗し、車輪交換の頻度が多くなります。
  戸車を快適にご使用いただくために、門扉がレールを真っすぐ走るように振れ止め等を入れることをお勧めいたします。〈推奨：ガイド付重量戸車（P046参照）〉
- アルミレールをご使用の場合、樹脂製の車輪をご使用ください。

  レールの材質より車輪が硬い材質だとレール本体が激しく摩耗します。
- 樹脂製の戸車を交換する際、レールが大きく傷んでいる（ガタガタの状態）と樹脂の摩耗が早くなります。

  レールのメンテナンスも定期的におこなってください。
- 樹脂製の戸車はご使用環境等により、車輪が劣化して割れる場合がございます。

  車輪が割れてはいけない場所には金属製の車輪をご使用ください。
- 戸車の動きが悪い場合は、シリコンスプレーをご使用ください。

  油系のスプレーを使用されますと、ゴミなどが付着しやすくなり動きが悪くなる原因となります。
- ベアリング入り戸車をご使用いただく場合、最後まで手を添えて扉の開閉をしてください。

  ベアリング入り戸車は引き力が軽いため、扉を勢いよく閉められますと柱にぶつかった衝撃で扉が跳ね上がってしまい、落下した衝撃でベアリングや戸車の枠の変形や破損の原因となります。
  扉が柱についた状態の上框のすき間にスペーサーなどを入れていただき、扉の跳ね上がりを少なくなるような加工をお願いいたします。
- 台車に戸車を取り付けられる場合、戸車に対して均等に荷重がかかるようご利用ください。

  荷物の載せ降ろし時、台車に衝撃が加わる場合には、ゴムマットなどで衝撃を緩和するなどの対策をおこなってください。